金融カフェ

2024.7.19　19時半～

- *6/6　第4回ECB理事会*
- *6/11・12　第4回FOMC*
- *6/13・14　第4回日銀金融政策決定会合*
- *6/20　第4回BOE金融政策委員会*

- 7/18　第5回ECB理事会
- 7/30・31　第5回日銀金融政策決定会合
- 7/30・31　第5回FOMC
- 8/1　第5回BOE金融政策委員会

日欧米中銀の動き　～　円安株高　～欧州難民移送問題　～　核廃棄物関連　～　紙幣発行・斎藤幸平・マルクスあれこれ

【速報】2024.4.26　**日銀、政策金利を据え置き　円相場1ドル＝156円に**

- 動画参照

利上げ「遅きに失することなく」 日銀6月決定会合意見

- 日銀は24日、13～14日の金融政策決定会合での「主な意見」を公表した。物価が上振れするリスクを念頭に「（7月末の）次回会合に向けてもデータを注視し、遅きに失することなく、適時に金利を引き上げることが必要だ」といった指摘が出た。3月会合でマイナス金利や国債を買い入れて長期金利を抑える長短金利操作（イールドカーブ・コントロール）など異次元緩和策を終え、政策金利を無担保コール翌日物金利とし、0～0...

日銀金融政策決定会合の内容公表　追加利上げ『遅きに失することなく』の意見も(2024.6.24)

- https://www.youtube.com/watch?v=Ey53ZyiBQAI&ab_channel=ANNnewsCH

【金曜更新】グローバルView（西田明弘）

中央銀行ウィーク FOMCと日銀会合の注目ポイント＋ECB理事会（西田明弘）　　2024.6.7

- https://www.youtube.com/watch?v=E0SUaoNNNyY&ab_channel=MONEYSQUARE

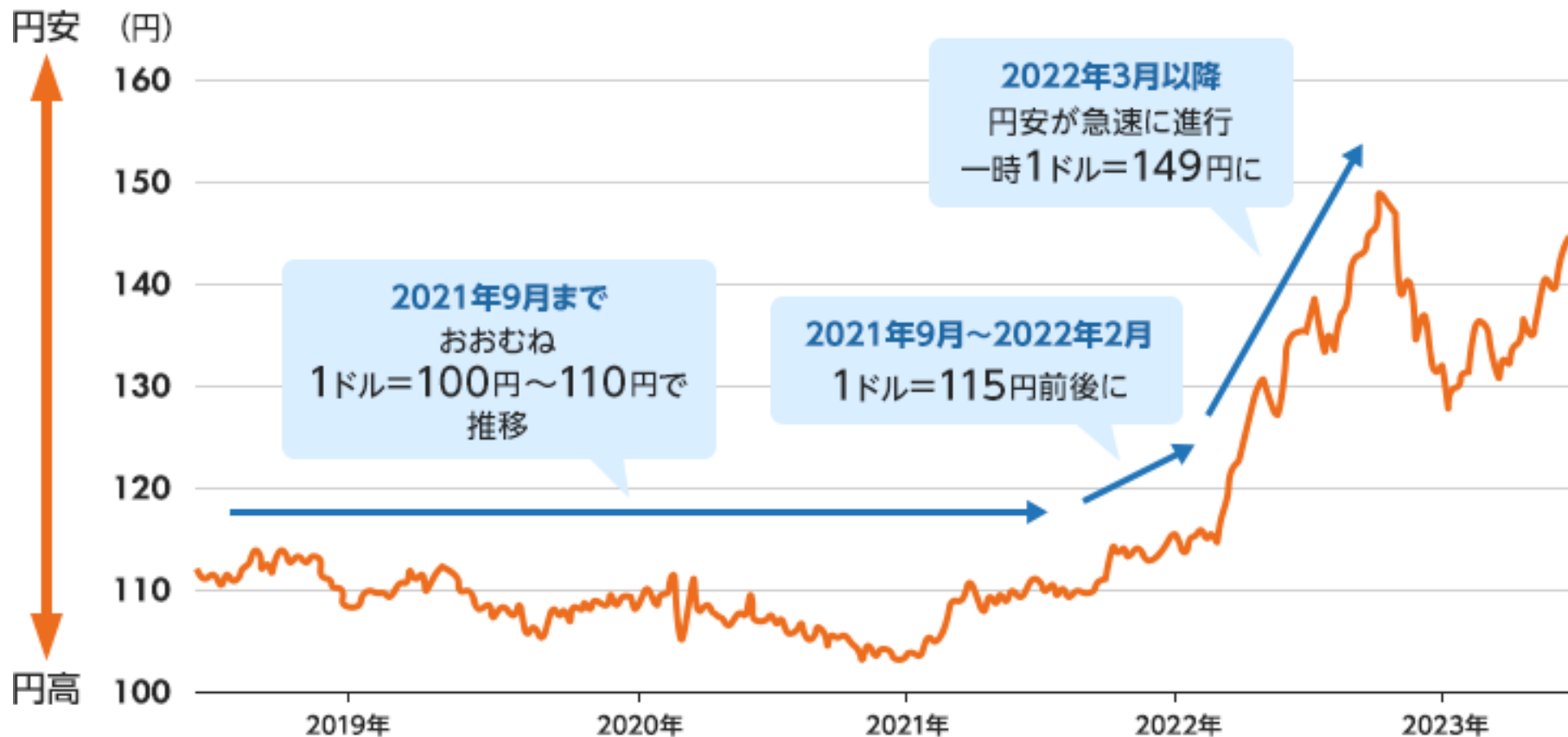
「円=安全通貨」は誤解だった　渡辺元財務官が説く復権策　　2024.6.23　日経新聞

- 1ドル=150円台の為替レートが定着しつつある。エネルギーの輸入額や、米テック企業への支払いなど「デジタル赤字」が膨らむ一方、輸出で稼ぐ力が落ちた。金融緩和からの脱却も簡単ではなく円安の歯止めが見えない。通貨政策を取り仕切る財務省財務官を務めた国際通貨研究所の渡辺博史理事長に「強い円」を取り戻す方策を聞いた。

  ※デジタル赤字：海外大手IT企業が提供するサービスの国内利用による（著作権使用等

- 円安の原因は日米の金融政策の方向性の違いがもたらした金利差拡大との解説が多い一方、…

円高傾向はいつから？

円安
（円）
160
150
140
130
120
110
100
円高
2022年3月以降
円安が急速に進行
一時1ドル=149円に
2021年9月まで
おおむね
1ドル=100円～110円で
推移
2021年9月～2022年2月
1ドル=115円前後に
2019年
2020年
2021年
2022年
2023年

円安が続く日本経済、その原因は？

- 日本経済は現在、円安が続いています。2015年～2022年2月頃までは上げ下げがあったものの、おおむね1ドル115円前後で推移していたのですが、**2022円3月以降はどんどん円安が進み、2023年10月には151円台にまで到達**しました。

- 以下の2点がこうした円安の主な原因と考えられています。

1　アメリカと日本の金利差

2　ウクライナ侵攻の影響

1.アメリカと日本の金利差

- 新型コロナウイルスの影響によって、アメリカ国内で物不足の状況が生じました。こうした供給不足・需要過多の状況によって商品・サービスの価格が上昇し、急激にインフレが進んだのです

- **インフレを抑え込む方法として、中央銀行（アメリカの場合、連邦準備制度理事会）が政策金利を上げる**という方法があります。政策金利が上がればそれに合わせて民間銀行の金利も上がり、民間銀行の金利が上がれば、利息が高いので企業は事業拡大のためのお金の借り入れを控えるようになります。

- こうして企業の借り入れや個人の消費を控えさせることで、物価の高騰を収めることも可能になるわけです。**アメリカはこの効果を狙って、2022年から大幅な利上げを決定**しました。

2. ロシアのウクライナ侵攻の影響

- このような**危機的状況のとき、世界各国の外貨投資を行う投資家は、経済・軍事ともに世界最大の強国であり、その意味で混乱期でも信頼できるアメリカドルへの投資傾向が高まります。**こうした動きは昔から「**有事のドル買い**」と呼ばれていますが、ロシアという大国が戦争を開始したことにより、ドル買いの動きが強まったわけです。

- **ドルを買おうとする動きが強まれば、ドルの価値は否が応でも高まります。**円に比べてドルの価値がどんどん高くなっていけば、相対的に「円安ドル高」になるわけです。

3.円安のその他の要因

- 新NISA（少額投資非課税制度）の拡大による対外国株投資の増加
- 投機的な円売り
- 日本の輸出・輸入面における対外競争力の低下

訪日客消費、年7兆円に拡大　自動車に次ぐ「輸出産業」　日経新聞　2024.6.26

コンテンツ産業（テレビ番組、アニメ、ゲーム、映画、マンガ等）**輸出額**

4.7兆円（2022年度）

日本株高の要因

- 4つの要因　24.7.8　楽天総研　窪田真之

①米国株高、②円安、③金融の環境良好、④企業業績への不安低下

- 3つの要因　24.2.22　木内登英

①実質賃金の低下と企業収益拡大、②物価高騰下での金融緩和、③円安の進行

- 8つの要因　24.2.20　NHK

①アメリカの株高、②日本企業の好調な業績、③株価を意識して経営、④円安で輸出関連に追い風、⑤円安で日本株に割安感、⑥中国からの資金シフト、⑦日銀の緩和継続姿勢、⑧NISA拡充で期待感

１人3000万円（15万ポンド）、難民「丸投げ」
英国、申請者をルワンダに強制移送　　2024.6.19　朝日新聞

「保護の責任転嫁」国連が批判

- ルワンダに向かう「第一便」は7月中に予定されているが、最大野党・労働党は7月4日の総選挙で勝った場合、計画をすぐに廃止する意向を示している。　→　**廃止に決定**
- 難民申請者の「第三国移送」は今後、欧州で広がる懸念がある。ルワンダへの移送は、近年移民に対して厳しい姿勢で知られる**デンマーク**も以前模索していた。
- **イタリア**は当局が地中海で救助した移民らを、アルバニアに送る計画を進める。昨年11月に同国と協定を結び、施設の建設と運営はイタリアが担う。８月には運営が始まる見通し

ルワンダは9日、受け入れをめぐるイギリスとの合意で受け取った2億4000万ポンド（約490億円）について、払い戻す義務はないとの見解を示した。　BBC News 7.12

右は、ルワンダ・ガガメ大統領

建設中の、亡命希望者の住宅

EU人口に占める
外国生まれの居住者の
割合　13.3%
（2023.1月現在）
イギリス：14%
日本：2.4%
新宿区：6.7%
ルワンダ
面積　2.5万㎢
（四国の1.5倍）
人口　1260万人
（九州 1280万人）
コーヒー、茶の輸出
3 チュニジア
5 モロッコ
1 アルジェリア
6 リビア
2 エジプト
(西サハラ)
4 モーリタニア
32 カーボベルデ
44 マリ
41 ニジェール
52 チャド
13 スーダン
9 エリトリア
38 セネガル
33 ガンビア
35 ギニアビサウ
34 ギニア
42 ブルキナファソ
43 ベナン
40 ナイジェリア
12 ジブチ
37 シエラレオネ
31 ガーナ
53 中央アフリカ
18 南スーダン
8 エチオピア
45 リベリア
39 トーゴ
51 赤道ギニア
47 カメルーン
15 ソマリア
36 コートジボワール
7 ウガンダ
10 ケニア
46 ガボン
49 コンゴ(民)
20 ルワンダ
54 ブルンジ
50 サントメ・プリンシペ
48 コンゴ(共)
14 セーシェル
16 タンザニア
11 コモロ
21 アンゴラ
22 ザンビア
27 マラウイ
23 ジンバブエ
25 ナミビア
26 ボツワナ
29 モザンビーク
17 マダガスカル
19 モーリシャス
24 エスワティニ
30 レソト
28 南アフリカ

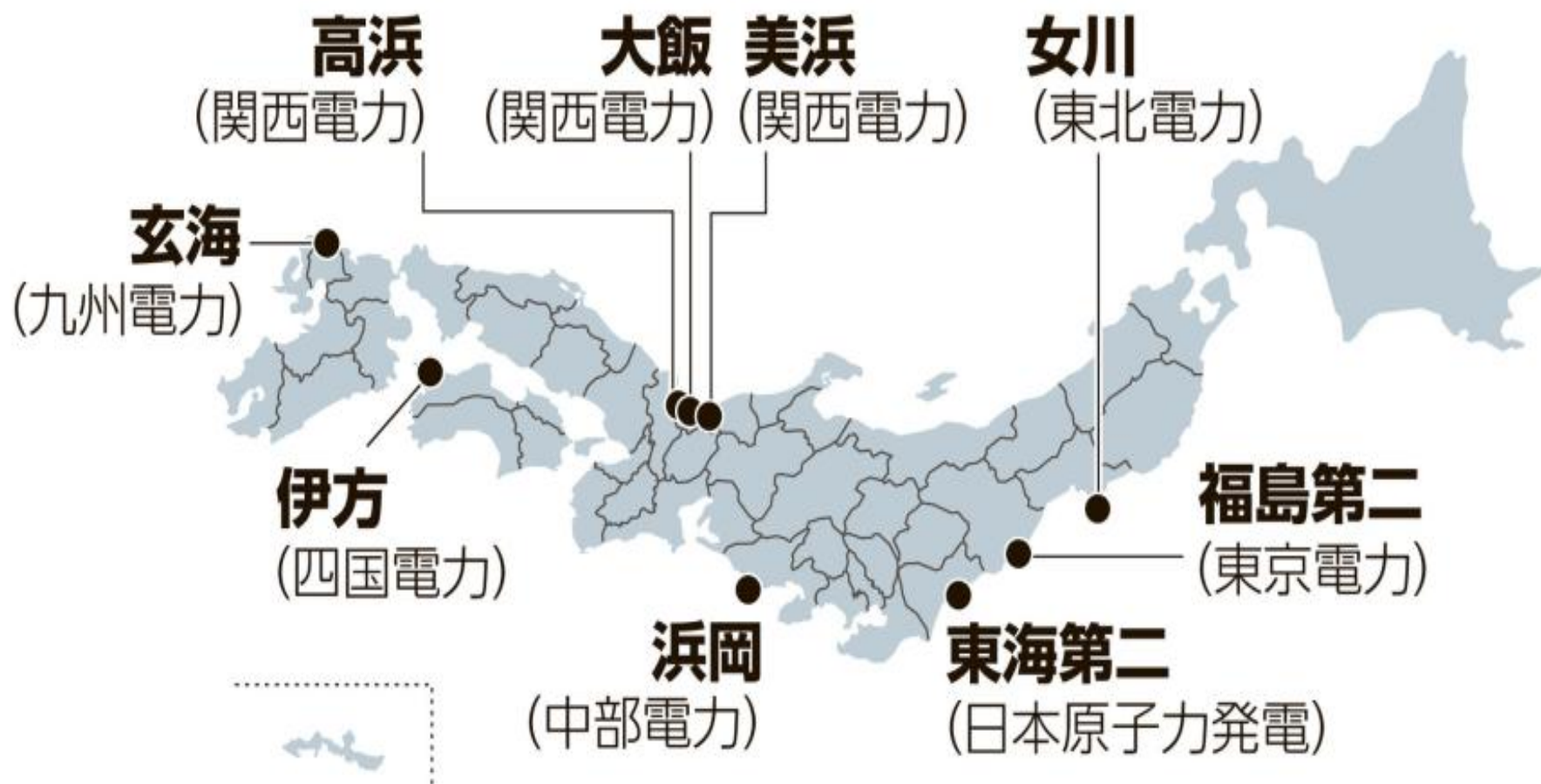
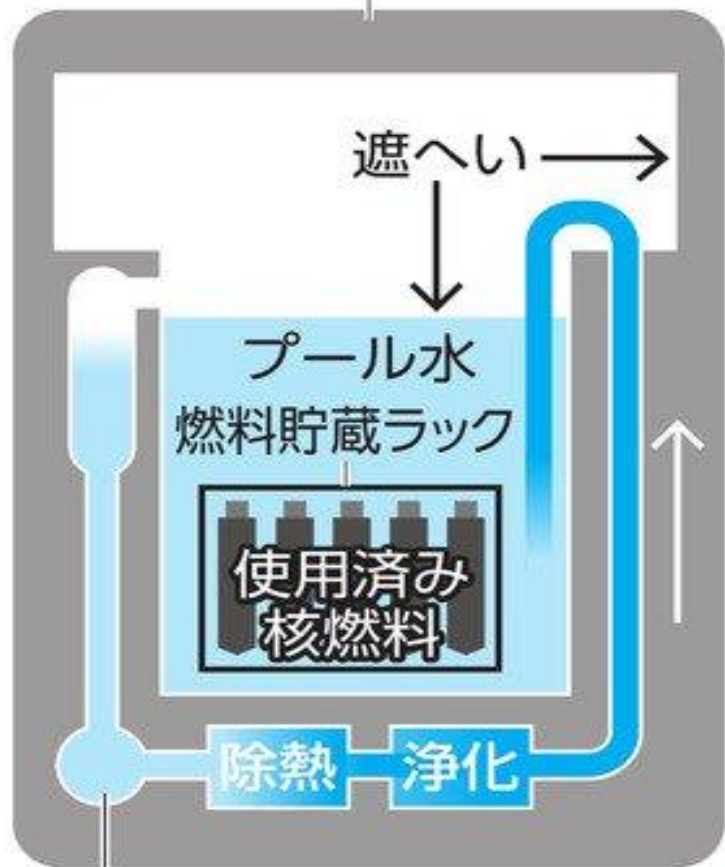
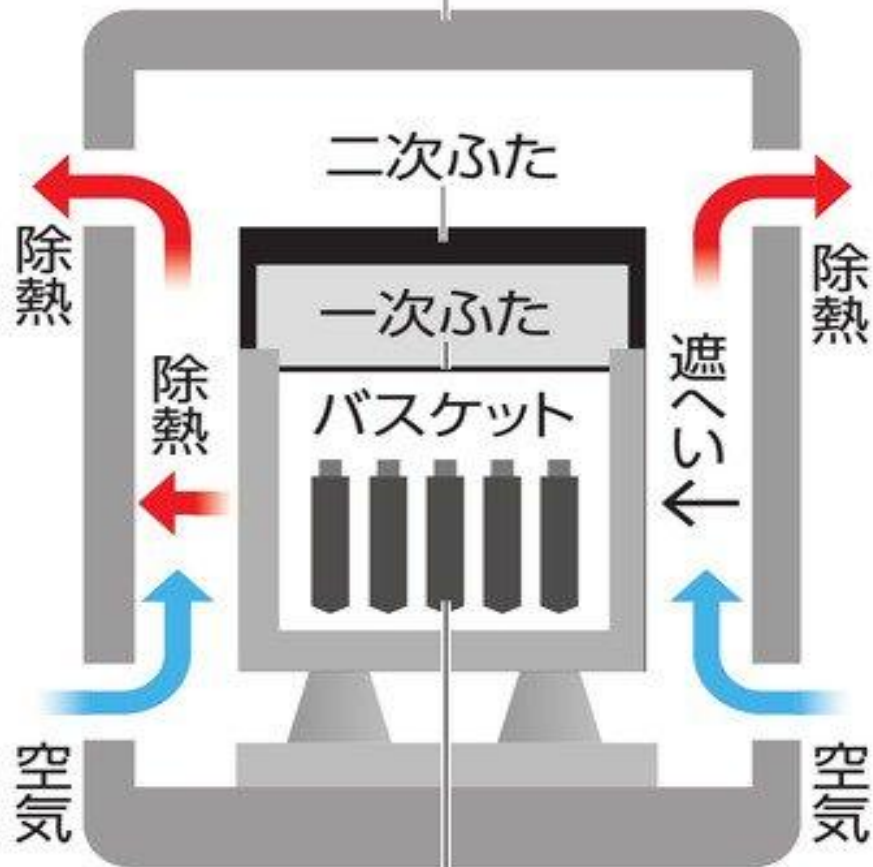
アルバニアと周辺国の地図
イタリアの平均月収
1250～4100　ユーロ（約21～70万円）
アルバニア
面積　2.8万㎢
（四国の1.5倍）
人口　276万人
（四国369万人）
アルバニアの平均月収
300～560ユーロ
長年欧州の最貧国、出稼ぎ
スロベニア
ハンガリー
ルーマニア
セルビア
モンテネグロ
コソボ
ブルガリア
マケドニア
アルバニア
イタリア
ギリシャ
トルコ
Copyright © 旅行のとも、ZenTech

核燃料の貯蔵施設、原発敷地内に計画次々 電力各社、使用済みの満杯回避狙う「最終処分場」になる恐れも

2024.6.9 朝日新聞

- 原子力発電所を持つ大手電力各社が、「乾式貯蔵施設」と呼ばれる使用済み核燃料の保管施設を原発敷地内につくる動きを進めている。核燃料サイクルの完成が遅れて、各原発内の燃料プール（湿式）が向こう数年でいっぱいになり、原発を動かせなくなる状況を回避するためだ。各社とも一時的な保管とするが、核燃サイクルが進まなければ、「最終処分場」になる恐れもある。
- 現時点で最も稼働時期が早いのは、四国電力が伊方原発（愛媛県）につくるもので、25年2月の稼働を予定
- 九州電力も玄海原発（佐賀県）で、25年に着工し、27年度から運用を始める予定

「乾式貯蔵施設」の計画がある国内の原子力発電所

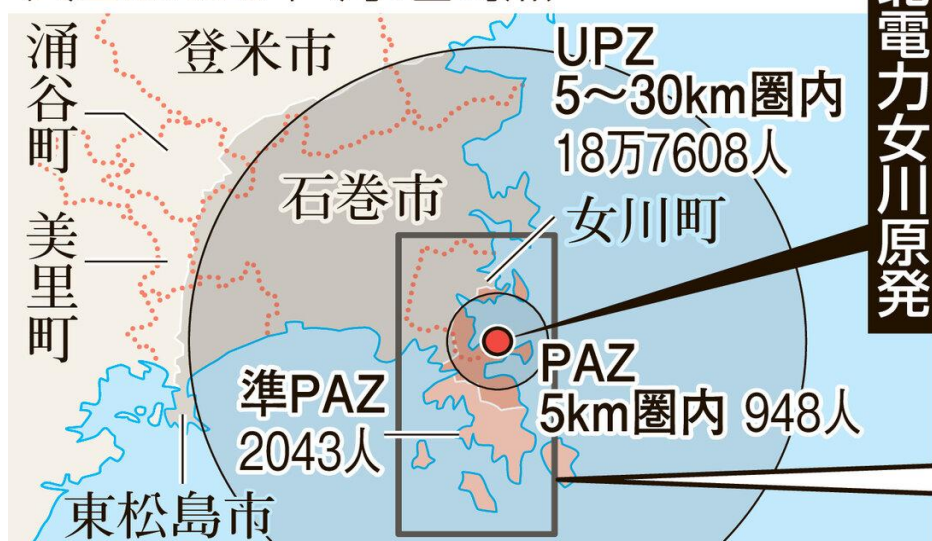
湿式と乾式の貯蔵方法の違い
電源・水が不要
湿式
乾式
建屋
遮へい
プール水
燃料貯蔵ラック
使用済み
核燃料
除熱
浄化
ポンプ
建屋
二次ふた
一次ふた
バスケット
除熱
除熱
除熱
遮へい
空気
空気
使用済み核燃料

海抜29メートルの防潮堤…女川原発再稼働へ着々

2024.6.14

福島民友記者ルポ

原発と海を隔てる防潮堤。大津波の流入を阻止するため、高さ海抜29メートル、総延長約800メートルの巨大な壁が立ちはだかる。東日本大震災前の敷地の高さは海抜14・8メートルだった。最新の知見による最高水位23・1メートルに十分な余裕を持たせた上、流されたがれきなどが衝突することも想定した。

女川原発と周辺の避難道路

人口は2023年4月1日時点

東日本大震災では…

- 3路線で全面通行止めが15カ所
- 車が通れるようになったのは県道220号が5日後、県道2号は11日後、県道41号は27日後
- 完全復旧には数カ月から数年も

さらに…

- 県道220号は震度6弱以上で通行止め
- 海沿いでは津波浸水想定エリアも

県への取材による

日本帝国
とは？

上：昭和20年発行
下：昭和18年発行

斎藤幸平氏　最新刊『マルクス解体』
著者インタビュー　「群像」2023年12月号より

- 『マルクス解体』その過激なタイトルに込められたメッセージとは何か？

著者インタビュー記事　→　別途PDF

※（感想）斎藤幸平氏は、マルクスの根源的理解を踏まえて、欧米の左派の思想家たちに大胆な論争を挑んでいる。“学術書”だけあって読むにはハードルが高い

目次

『一八世紀の秘密外交史　ロシア専制の起源 』

カール・マルクス、カール・アウグスト・ウィットフォーゲル著　白水社　2023.3

Karl Marx

Secret Diplomatic History of the Eighteenth Century

一八世紀の秘密外交史

ロシア専制の起源

カール・マルクス

カール・アウグスト・ウィットフォーゲル 著

石井知章＋福本勝清 編訳

周雨霏 訳

「ロシアが欲しいのは水である」

タタールのくびきがもたらしたものは？

なぜロシアは膨張したのか？

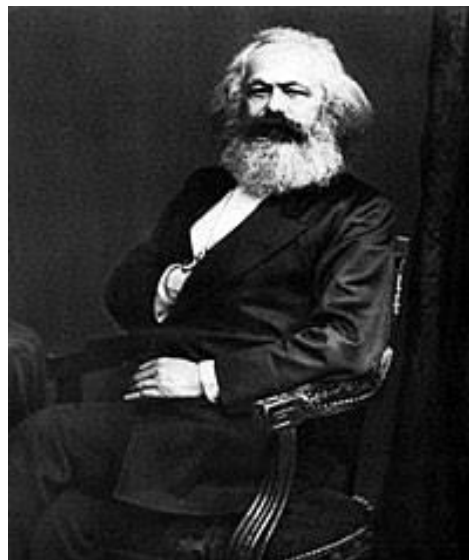
白水社

- 石井知章（明治大学教授）、福本勝清（明治大学名誉教授）という中国研究家が編訳
- ロシアに敵対的な表現があるため、マルエン全集には採録されず
- ロシア専制政治の形成過程の分析は、それまでの西欧社会の単線的発展といった歴史観に修正を迫るもの

★『ニューヨーク・デイリー・トリビューン』への寄稿　　1856年（クリミア戦争終結後）

序（ウィットフォーゲル）

ウィットフォーゲル　米へ亡命
1896生（独）～1988没
主著『東洋的先制主義』

第1章　*資料と批判*　1700年代のイギリス外交とロシア
第2章　北方戦争とイギリス外交
第3章　イギリスのバルト貿易
第4章　*資料と批判*　イギリスとスウェーデンの防衛条約
第5章　近代ロシアの根源について
第6章　ロシアの海洋進出と文明化の意味

マルクス
1818生 ～
1883没

序（ウィットフォーゲル）　からの引用

◇Ｉ　ロシア――どこへ？　　人類――どこへ？

- 『**一八世紀の秘密外交史**』は、マルクスが人生の半ばごろ*（1856年）*に書いた、ロシアの歴史的特異性と発展の可能性に関する一連の論考である。
- マルクスは1844年から批判的に取り組んできた政治経済学が、近代世界の発展を説明するには十分でないことに気づいていた。このような理論的にも十分に分析されきれず、政治的にも十分に対応されていない発展は、**おそらく人間の解放どころか、むしろ新しい形の全体的奴隷制を導くという結論**に到達したのである。